

地元で「向き合う政治」を実行中！



初当選した山下県議と熊谷知事を表敬訪問

党8区総支部総会、
太田市長も来賓としてご出席

地域の公園で「あおぞらトーク」(延べ167回)

学童軟式野球大会、
柏市予選会で激励千葉県議会議員選挙では、
「山下洋輔」候補を全力応援、
見事、トップ当選衆議院千葉5区補欠選挙では、
朝夕の駅頭、街宣活動など、
「矢崎けんたろう」候補を全力応援皆さまのご協力で、
市内各所にポスター掲示「あおぞらトーク」終了後も、
皆さまとアフタートーク4年ぶりに各地域で夏祭り。
どの会場も笑顔がいっぱい毎朝の駅立ちのあと、
常磐線で国会へ通勤地域の皆さまと清掃活動、
ゴミの多さにビックリ

本庄さとし LINE YouTube

本庄さとしの活動について
情報を発信しています。



ぜひ、お願いします!!

党員・サポーターズ募集中！

■ 党員 党費:年間4千円(広報紙購読料含む)

■ サポーターズ 党費:年間2千円

党員・サポーターズは、代表選挙が実施される場合、「投票権」があります。

04-7170-2680

本庄さとし事務所(地元)

〒277-0863
柏市豊四季949-9 ジュンカ南柏101
04-7170-2680 04-7170-2681

国会事務所

〒100-8982
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1219号室
03-3508-7519 03-3508-3949

ご意見・ご要望は

info@honjosatoshi.jp
公式ウェブサイト
honjosatoshi.jp



News Letter 2023年(令和5年)8月10日／本庄さとし事務所発行
ORANGE おれんじ 通信

衆議院議員

本庄 さとし

千葉8区
(柏市)

（党務）副幹事長、千葉県連副代表
(国会) 衆議院予算委員会、内閣委員会、憲法審査会 委員

- 1974年10月22日京都市生まれ、柏市増尾在住
- 東京大学法学部卒(体育会テニス部・北岡伸一ゼミOB)
- 衆議院議員岡田克也事務所(19年間勤務)
政策担当秘書、外務大臣秘書官、副総理秘書官を務める
- 党公募を経て、2021年衆院選で初当選(13万5,125票)
- 家族／妻、息子(中2)、娘(小6)
- 好きな食べ物／冷奴、そば、昆布締め、漬物、コーヒー
- 息抜き／テニス、子どもたちと過ごす時間、妻との晩酌
- 好きな言葉／意志あるところに道は開ける
- 政治を志したきっかけ／10代で目の当たりにした消費税導入と湾岸戦争

向き合う政治。

役職

5ヶ月に及ぶ通常国会、私は約220時間の審議に出席し、テレビ入りの予算委員会など質疑・発言は9回、4本の議員立法、内閣不信任案も提出しました。朝の駅立ちや週末の地元活動と並行しての国際会活動の中、4月には千葉県議選と衆院千葉5区補選を全力で戦いました。心身ともにかなりハードな日々でしたが、非常に濃密な、収穫の多い150日でした。

今国会は、防衛費倍増、ミサイル反撃能力、原発推進など、安全保障やエネルギー政策の大転換点となる予算や法案など、人権や多様性が大きく後退しかねない法案も成立しています。そういう中で、私たち立憲民主党は、政府提出法案の8割に賛成しながらも、このようないきく後退しかねない法案も成り立っています。そこで、私たち立憲民主党は、政府提出法案や修正案を提出し、あるいは反対を貫きました。

自民党と対峙する第二党として、その役割を果たしたと自負していますが、残念ながら、必ずしも国民の皆さまからの評価をいただけていないという現実も、真摯に受け止めなければなりません。国会と並ぶ国政の両輪は選挙です。少数野党が国会で政府・与党と伍して戦うためには、選挙での議席の上積みが必要不可欠と言えます。散々総選挙も取り沙汰されています。任期はまだ半分ですが、是非もありません。

今年の夏は暑く、そして熱い夏になりそうですね。皆さまの変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

衆議院議員
本庄 さとし

柏市議会議員選挙(8/6 投開票)

公認候補3名、全員当選！



8/4合同演説会でも全力応援！

猛暑の中、現職・新人50名が立候補し(定数36名)、大激戦となった柏市議会議員選挙。立憲民主党公認の岡田ちかさんが見事トップ当選(3期目)、新人永山ともひとさん、いとう誠さんも、無事初当選を果たしました。多くの皆さま方にご支援いただき、暑い、熱い選挙戦となりました。

今後は、市政、県政、国政で連携しながら、柏、東葛、そして千葉の未来のために全力で取り組んで参ります。

開票結果



現職
岡田ちか
5,554票 1位



新人
永山ともひと
3,557票 6位



新人
いとう誠
2,094票 27位



予算委員会など国会最前線で9回、質問に立つ

通常国会

1月23日から始まった通常国会(150日間)が閉会しました。多くの重要課題に、総理はじめ政府からの丁寧な説明はなく、ただ長々と答弁を繰り返すばかりで、議論は深まりませんでした。

総理と2度目の闘論!

予算委員会×3回

ミサイル反撃能力



本庄さとし ミサイル反撃能力行使の具体例を示すとの答弁があつてから3週間、いまだ政府から回答がない。いつ示すのか。

岸田総理 どのような説明が分かりやすいか、いま調査を進めている。



本庄さとし 防衛費43兆円とセットの議論であり、政府の言う安全保障政策の大転換のキモの部分だ。

平時に国会で類型や事例を審議しておかないと、政府への白紙委任となり、国会の役割を果たせない。

本庄さとし 日本自身が攻撃を受けていない「存立危機事態」でも、ミサイル攻撃は可能という理解でよいか。

岸田総理 武力行使の3要件を満たし、他に適切な手段がない、必要最小限度の実力行使、そうした条件を満たせば、論理上はあり得る。

本庄さとし 結局、日本自身が攻撃を受けていなくても、外国の領域内でミサイル反撃が可能になる。非常に武力行使の対象範囲が広がり、もはや専守防衛とは言えない。

内閣委員会×3回

「コロナ予算」100兆円の検証



本庄さとし 政府の有識者会議は、コロナ予算の財源のあり方、施策の効果など多面的な検証を求めている。こういった検証は不可欠だが、政府に取り組む意欲はあるか。

後藤大臣 新型コロナへの対応について、不断の検証を行ながら、次の危機対応に備える。

本庄さとし その不断の検証は、国会あるいは国民に公表されるのか。

後藤大臣 どういう形で、どういう検証をするか、いま具体的にお答えできる状況ではない。

本庄さとし コロナ予算は3年間で100兆円超と言われているが、その使われ方が適切であったかどうか、検証は待ったなし。実際、コロナ関連でいくら使ったのか。

財務省 多様な予算が含まれることから、「コロナ予算」として切り分けてお答えすることは困難だ。

本庄さとし 財政の責任者すら答えられない。非常にいいかげんな答弁だ。やはり十分な検証がます必要だ。

憲法審査会×3回

財政民主主義の空文化



本庄さとし いま、憲法が規定する「財政民主主義」が空文化している。その最たるもののが巨額の予備費だ。予備費は予算審議の中で具体的な使途が議論されず、事後に形式的な議決がなされるのみ。事実上、政府の自由裁量となっている。

例えば、2022年度は当初予算と補正予算で、合計約12兆円もの予備費が計上され、うち4兆円近くが不用額となる見込みだ。

もはや憲法に規定する「予見し難い予算の不足に充てるため」と言える状況ではないが、本年度予算でも5.5兆円もの予備費が計上されている。しかも、その財源は実質的には赤字国債、借金だ。

税金の使い道は国民を代表する国会で決めるという財政民主主義は、いまや瀕死の状態だ。

国会質疑の模様は、ホームページよりご覧ください



行政改革・身を切る
改革プロジェクト

実務者として、議員立法4本を提出!

01 すべての人の選挙権行使のための「ネット投票法案」

通常の紙による投票に加えて、公示・告示の翌日から投票日の前日まで24時間いつでもどこでも、スマートフォンなどでネット投票できるようにするもので、2025年からネット投票の導入を目指します。



02 官僚OBによる再就職あっせん禁止の「天下り規制法案」

職員OBを介した再就職あっせん行為を規制すること、管理職職員の再就職を規制することなどで、いわゆる「天下り」によって政策決定の過程が歪められることを防止します。

03 改ざん防止、データ永久保存など「公文書管理条例改正案」「公文書院設置推進法案」

恣意的に「個人メモ」として法規制の対象外とすることがないよう、行政文書の定義を見直すことや独立性を持った「公文書院」の創設などを盛り込んでいます。公文書管理は民主政治の基盤であり、公文書の作成・管理の適正化を図ることが極めて重要です。



今国会の法案提出には至りませんでしたが、私が実務者責任者として、「内閣官房・内閣府の肥大化防止」の立法作業にも取り組んでいます。

内閣官房・内閣府が政策の方向づけに専念し、行政のスリム化を進めることで、内閣の重要な政策に関する総合調整機能を強化することがねらいです。

粘り強く「身を切る改革」一立憲主導で「衆参委員長手当」廃止。年間5千万円を削減!

国会開会中に土日も含めて1日6千円が支払われる常任委員会と特別委員会の「委員長手当」を廃止しました。今後も、過去の慣例にとらわれず、改革することが当たり前の文化をつくっていきます。

時事直言

マイナ保険証に見る岸田政権の本質

マイナカード、マイナ保険証のトラブルが後を絶ちません。コンビニで赤の他人の証明書が出てくる、別人の医療情報や公金口座が紐付けられるなど、耳を疑い、目を覆いたくなるような問題が相次いでいます。

私は、昨年秋の国会から、何度もこの問題を取り上げてきました。河野太郎氏が担当大臣に就任し、突如打ち上げられた保険証廃止の方針に、大きな問題と懸念があったからです。不幸にして、それは現実のものとなっています。

私は、医療のデジタル化やマイナンバー制度に反対しているわけではありません。

しかし、国民の命と健康を守る保険証を、十分な議論も準備もないまま廃止して、マイナンバーカードを取らざるを得ない状況を作ろうとしたうえに、問題が生じてもなお、立ち止まって再考しようとしている。そういう独善的で横暴な岸田政権の姿勢が、単なるカードや保険証の問題を超えた政権の本質を表していると私は考えています。



こんな方に
オススメ!

国会で、お会いしませんか?



本庄さとし事務所では、常時、国会見学を受付けています。国会開会中であれば、本会議や委員会の傍聴も可能です。

国会議事堂で購入できるお土産も品ぞろえが豊富です。お土産選びも国会見学の楽しみの1つです。

ぜひ、お気軽にお問合せ、お申込みください。お待ちしています!

お問合せ

04-7170-2680 info@honjosatoshi.jp